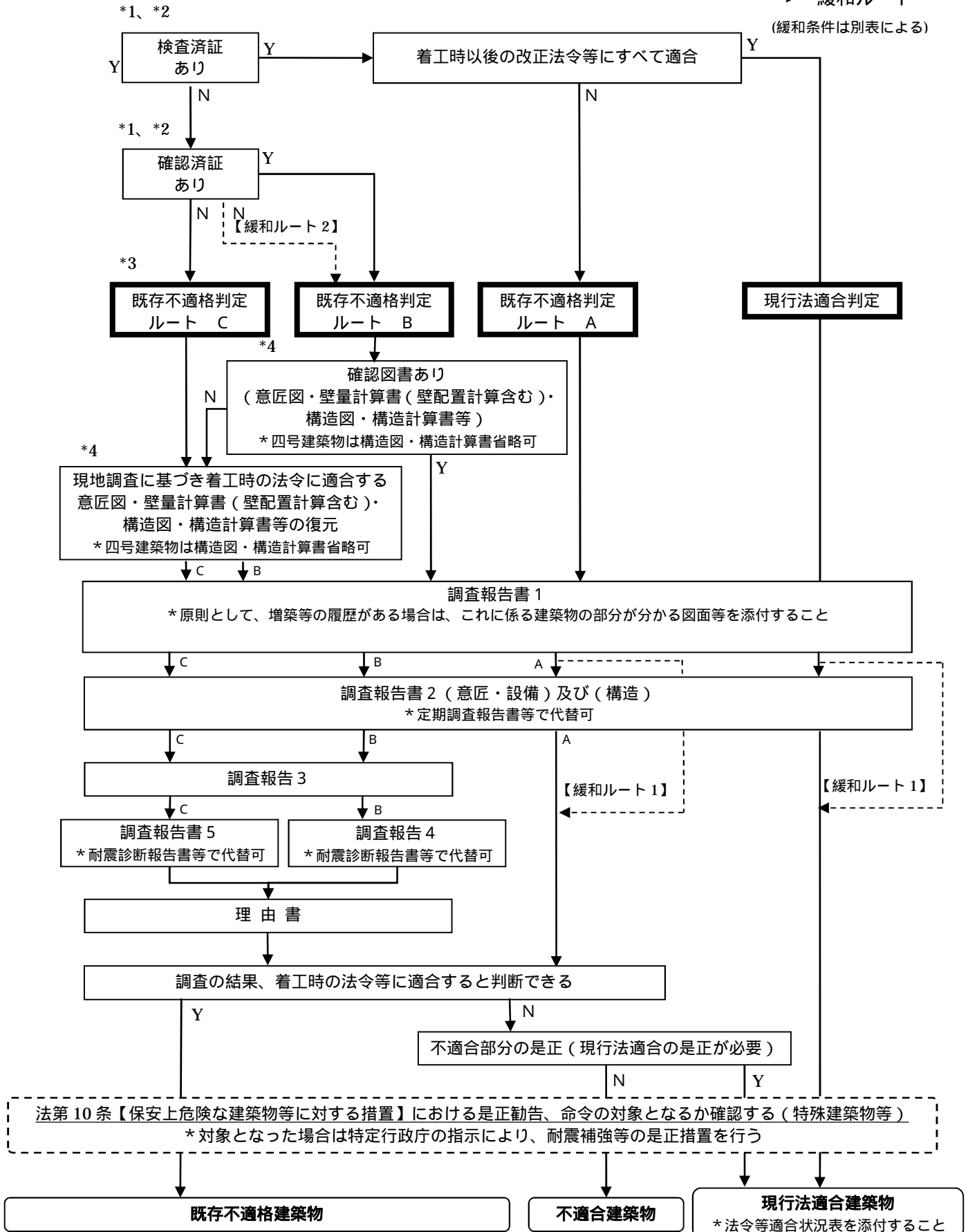


既存建築物判定フロー


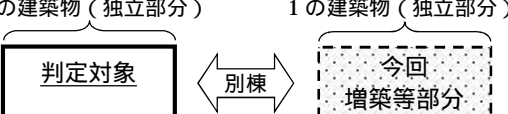
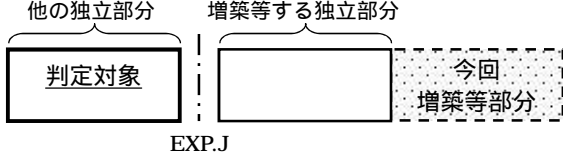
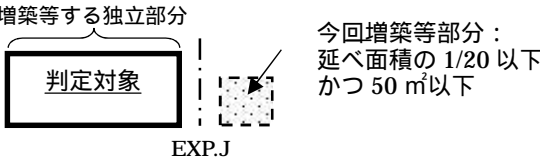
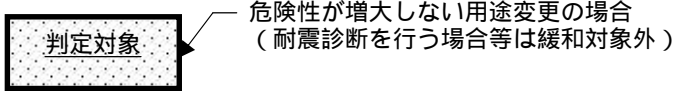
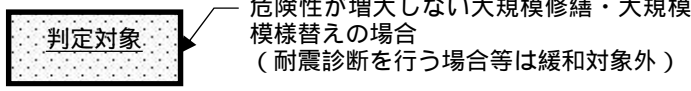
通常ルート
 緩和ルート



- * 1 当フローにおける検査済証・確認済証とは、判定対象となる独立部分について取得したもののみとし、他の独立部分（エキスパンションジョイントでつながる独立部分等）や、別棟の建築時に取得したものは対象としない
- * 2 検査済証、確認済証又は建築計画概要書がある場合は、その写しを添付すること
- * 3 着工年を推定できる書類（登記事項証明書等）を添付すること
- * 4 確認図書又は現地調査に基づく復元図書を添付すること

別表 「既存建築物判定フローにおける緩和事項の適用条件」
下表の緩和条件を満たし、かつ、緩和が支障ないと特定行政庁が認めた場合に適用することができる

< 緩和ルート・判定対象独立部の条件別緩和表 >

	判定対象独立部分、今回増築等部分との関係	緩和条件及び緩和内容
緩和ルート1	<p>判定対象の既存独立部分が、竣工後 10 年以内である場合</p> 	<p align="center">〔 確認済証：有 検査済証：有 〕</p> <p align="center">↓</p> <p align="center">調査報告書 2 省略可</p>
	<p>判定対象の既存独立部分が、今回の増築等部分と別棟（1 敷地内の 2 以上の建築物）である場合</p> 	
緩和ルート2	<p>判定対象の既存独立部分が、2 以上の独立部分のうち、増築等する独立部分以外の独立部分（他の独立部分）である場合</p> 	
	<p>判定対象の既存独立部分への今回の増築等部分が、延べ面積の 1/20 以下かつ 50 m²以下で、既存建築物の構造耐力上の危険性が增大しない場合</p> 	<p align="center">〔 検査済証：無 確認済証：無 〕</p> <p align="center">↓</p> <p align="center">ルートCから ルートBに変更可</p>
	<p>判定対象の既存独立部分に対する、構造耐力上の危険性が增大しない用途変更の場合</p> 	
	<p>判定対象の既存独立部分に対する、構造耐力上の危険性が增大しない大規模修繕・大規模模様替えの場合</p> 	
<p>判定対象の既存独立部分に対する、構造耐力上の危険性が增大しない昇降機申請の場合</p> 